

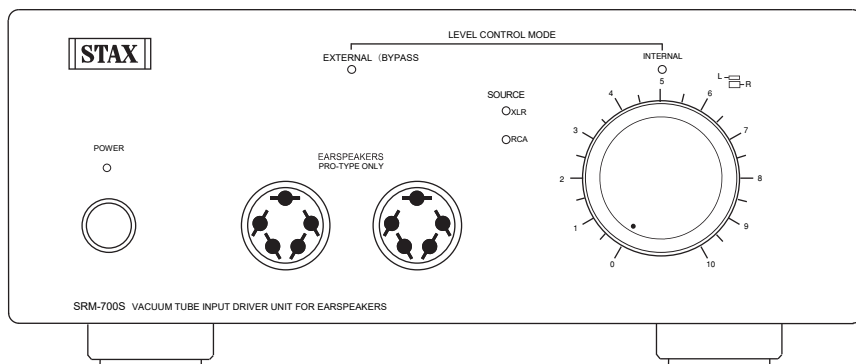
# SRM-700S

## DRIVER UNIT FOR EARSPEAKERS

(Amplifier for STAX Headphones)

### 取扱説明書

このたびは、スタックスのイヤースピーカー専用ドライバーユニット SRM-700S をお買い上げいただきましてありがとうございます。SRM-700S の音質、性能、機能をフルに発揮してお使いいただくためにこの説明書をよくお読みの上、末長くご愛用いただけますようお願いいたします。お読みになったあとは保証書とともに必ず保管してください。



この製品は高電圧を内蔵しています。危険ですから、絶対に分解したり改造したりしないようにお願い致します。

**RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN!**

The SRM-700S contains high voltage circuitry.



It is dangerous to disassemble or to remodel it. Please observe Don'ts.

**STAX®**

# 1.安全にお使いいただくために（初めにお読みください）

## ●ご使用前に・・・図表示について

この説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな図を使用しています。その表示を無視し、誤った取扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。  
左の例は感電注意



この記号は禁止の行為を告げるものです。  
左の例は分解禁止



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。  
左の例はプラグをコンセントから抜く

## **警告**



- ぬれた手で電源プラグまたはイヤースピーカーのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 表示されている電源（本機は交流 100 ボルト専用です）以外は使用しないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしないでください。
- 放熱用の上面の通気穴は塞がないでください。
- 本機の内部に金属・液体・物等を入れないでください。
- イヤースピーカー用出力端子に触れないでください。



- 煙が出たり、異臭、異音がしましたら、すぐに使用を中止して電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・感電などの危険性があります。お客様が修理されるのは危険です。修理は販売店か当社サービス課までご依頼ください。



- 底板やトップカバーは外さないでください。
- 分解または改造をしないでください。

## **注意**

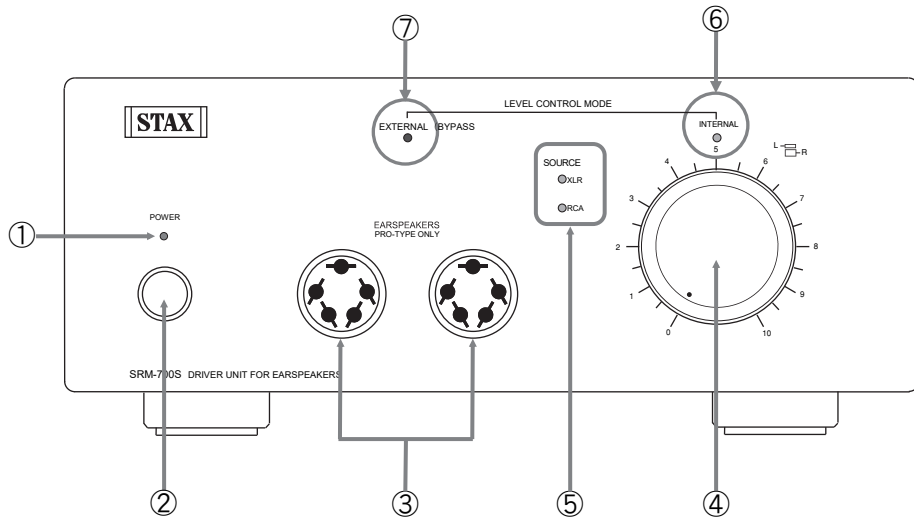


- 本製品は以下のような場所に置かないでください。ケガおよび故障の原因になることがあります。
- 振動または衝撃が加わる場所や傾いた場所や直射日光のあたる場所。
  - 水気・湿気・ホコリの多い場所。
  - 温度差の激しい場所または熱を発生するものの近く。（ストーブ、ヒーター等）
  - 本機の上にイヤースピーカーや物を置かないでください。放熱穴を塞いでしまうと発熱して本機の故障に繋がります。



- 落としたり、衝撃を与えたりすること。
- 音量を上げすぎない：大音量で聴くことは耳を痛める原因になります。やや控えめな音量で聴くことは、耳のため製品のためにもお奨め致します。

## 2. 各部の名称と機能 フロントパネル側



①電源表示 LED：電源を入れると青色 LED が点灯します。

②パワースイッチ：押して「ON」もう一度押すと「OFF」になります。



③PRO Type イヤースピーカー用コンセント：5ピンタイプのイヤースピーカーを差し込んでください。

④ボリュームツマミ：二重軸のツマミは連動して左右同時に回せます。左右アンバランスの場合は片方を指で固定し、もう一方を単独で回して音量を揃えることができます。手前がL-CH、奥側がR-CHです。

⑤SOURCE表示：リアパネルの切換えスイッチで選択したソース（XLR or RCA）を表示します。

**LEVEL CONTROL MODE表示**：リアパネルの切換えスイッチでいずれかが点灯します。

音量調整を本機のボリュームで行うか、外部のボリューム（アッテネーターやプリアンプ）を使用するかの動作の表示です。

⑥INTERNAL：緑LED点灯・・・本機のボリュームで音量調整を行います。

⑦EXTERNAL：赤LED点灯・・・本機のボリュームをバイパスします。音量調整は外部ボリュームで行います。赤色点灯の時は本機のボリュームで音量調整ができないのでご注意ください。

## 3. 使用上のご注意

●本機の内部には高電圧の部分がありますので危険です。トップカバーまたは底板を外して使用したり、水に濡れやすい場所、またはホコリの多い場所・高温度の場所で使用したりしないでください。



●本機は発熱しますので本体上下の通気孔を塞がないでください。なるべく風通しの良い場所に設置してください。

●ラックなどに収納する場合は本機の天面から5cm以上あけ、ラック壁面との隙間も5cm以上離して設置してください。本機は立てて使用しないでください。

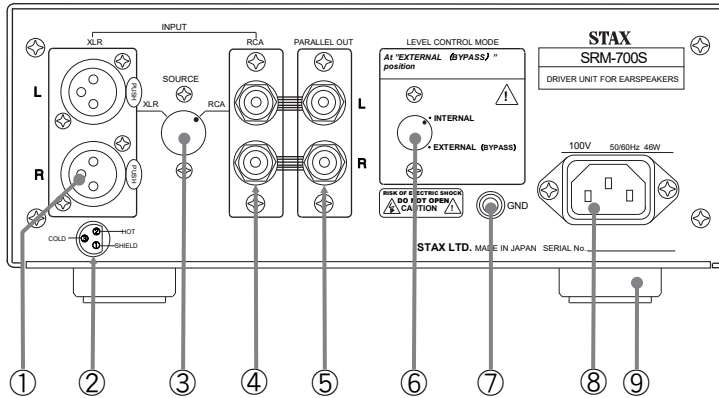
●本機の FOOT は非常に密着度が高いため移動の際にはご注意ください。

●本機のボリュームをパスした状態（「LEVEL CONTROL」が「EXTERNAL」位置）では音量調整ができませんので十分ご注意ください。

●イヤースピーカーを耳に掛けながら「LEVEL CONTROL」を「EXTERNAL」に切り換えるのは、大音量が出る可能性がありますので行わないでください。

## 4. 各部の名称と機能 リアパネル側

工場出荷時はRCA入力・内蔵ボリューム「INTERNAL」が選択されています。

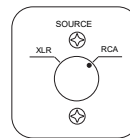


① **XLR入力端子**：XLR入力端子 XLRバランス出力端子を装備した機器に接続します。

② **XLR極性表示**：本機のXLRの極性は、1: SHIELD, 2: HOT, 3: COLD です。  
3番HOTのソース機器をご使用の場合は、市販の極性変換のアダプター又は極性変換ケーブルをご用意ください。

③ **SOURCE**切換えスイッチ：XLR入力かRCA入力を選択します。

④ **RCA入力端子**



工場出荷時はRCA入力が  
選択されています

⑤ **PARALLEL OUT**（スルーアウト端子）：

パラレル出力端子は、RCAに接続されたソースの信号がそのまま出力されます。  
ラウドスピーカー用のアンプの入力端子や他のドライバーユニットなどへ接続する時にご使用ください。  
パラレル出力端子に接続した機器を使用しない場合は、ケーブルを外してください。

\* 稀に、スルーアウト端子に接続した機器の電源がOFFの場合、ソース機器の信号が歪む場合がございます。  
この場合は、その機器の電源をONにするか、ケーブルを外してください。

弊社のSRMシリーズを増設してお使いになる場合、ボリュームをゼロにしておけばSRMの電源のON/OFFに影響されません。

⑥ **LEVEL CONTROL MODE**切換えスイッチ：工場出荷時は「INTERNAL」が選択されています。

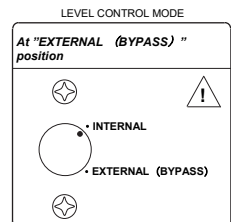
音量調整を本機のボリュームで行うか、外部のボリューム（アッテネーターやプリアンプ）を使用するかの動作の表示です。

- ・ INTERNAL：緑LED点灯 ・ 本機のボリュームで音量調整を行います。
- ・ EXTERNAL：赤LED点灯 ・ 本機のボリュームをバイパスします。音量調整は外部のボリュームで行います。

“EXTERNAL”の位置では、本機のボリュームで音量調整できませんのでご注意ください。

“EXTERNAL”の位置では、“SOURCE”はXLR又はRCAいずれかを選択してください。

（不用意に切換えて大音量になることを防ぐためです）



⑦ **GND**：アース端子

ハムが出る場合など、他の機器のアース端子又はネジなどの金属部分や大地アース等に接続します。  
使用するコードの種類・材質、コードの太さ・色など不問です。  
入手しやすいものをご使用ください。

⑧ **ACインレット**：付属の電源コードを差し込んでください。

⑨ **FOOT**：本機のFOOTゴムは非常に密着度が高いため移動の際にはご注意ください。  
本機を両手で持ち上げてから移動してください。

## 5. ご使用方法

●接続の前に「パワースイッチ」がオフになっているのを確認してください。（3 ページ参照）

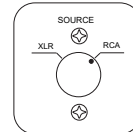
●ソース機器の音声出力端子、RCA 入力又は XLR 入力に接続します。  
RCA 接続する場合は、付属のケーブルをご使用下さい  
XLR 接続の場合は市販のケーブルをご用意ください。



工場出荷時設定

●リアパネルの「LEVEL CONTROL MODE」スイッチは、本機の内蔵ボリュームをご使用になるか、外部のアッテネーターやプリアンプをご使用になるかの切換えのスイッチです。  
通常は工場出荷時の「INTERNAL」でお使いください（緑色 LED が点灯します）。

「SOURCE」切換えスイッチ



●リアパネルの「LEVEL CONTROL MODE」スイッチを「EXTERNAL」のポジションにした時はダイレクト入力になり、赤色 LED が点灯します。  
このポジションにすると音量調整ができません。必ず外付けのアッテネーター又はプリアンプをご利用ください。

「LEVEL CONTROL MODE」切換えスイッチ

●リアパネルの AC インレットに付属の電源コードを差し込み、プラグを AC100V のコンセントに差し込みます。

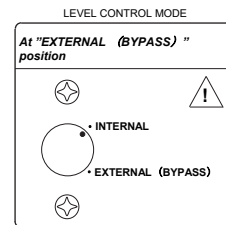
●イヤースピーカーをフロントパネルのイヤースピーカーコンセントに差し込みます。

●電源スイッチを押すと、青色 LED ①が点灯します。

●ボリュームツマミを徐々に右に回して最適な音量に調整してください。  
2重ツマミの手前を単独で回すと左チャンネルが、奥を回すと右チャンネルが調整できます。  
左右の音量のバランスはこれで調整します。

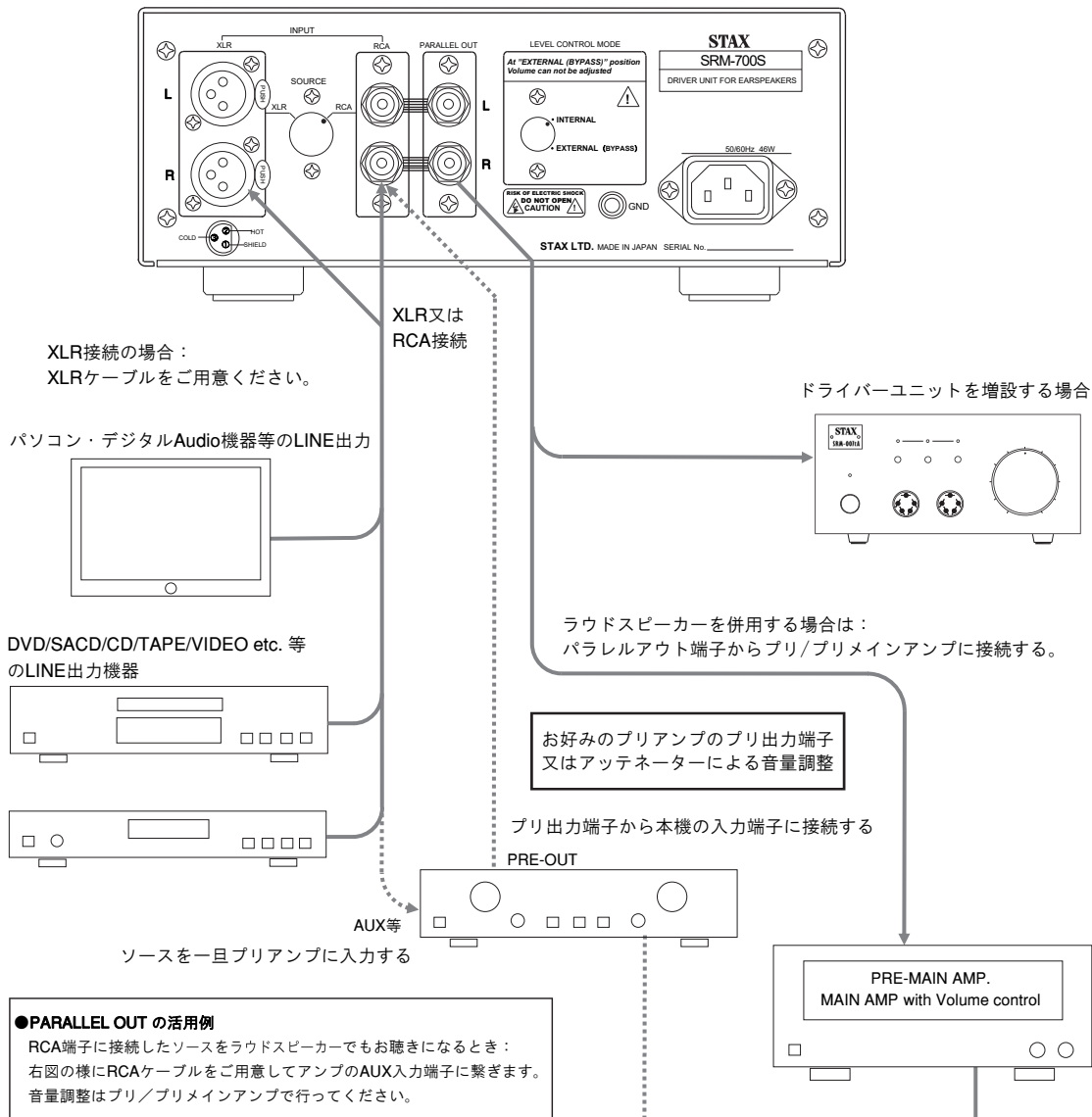
●プリアンプ・プリメインアンプの「REC OUT」端子で十分な再生音量が得られない場合は、PRE OUT 端子に接続してください。  
この場合は、本機の「LEVEL CONTROL」を「EXTERNAL」のポジションにして、プリアンプ側のボリュームで音量調整してください。

●上記以外の接続方法：ミニ・ステレオジャックの端子を持ったソース機器に接続する場合。  
市販のステレオ・ミニプラグ→RCA プラグの変換ケーブル又は変換プラグを使用して接続することができます。音量の調整は、通常のヘッドフォンをお使いになる音量にセットし、SRM-700T のボリュームで調整してください。  
ソース機器が LINE OUT の出力端子の場合は、「LEVEL CONTROL」を「INTERNAL」のポジションにして、本機のボリュームで音量調整を行ってください。

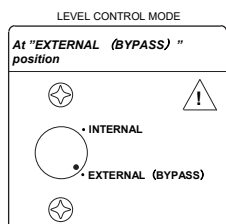


## 6. 接続の例

### ① 標準のご使用方法（工場出荷時の設定）

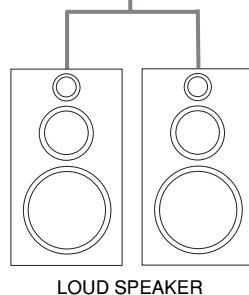


### ② お好みのプリアンプやアッテネーターをお使いになる場合



1. プリアンプ・アッテネータで音量調整を行う場合、本機のRCA, XLR端子に接続します。XLR接続する場合はXLRケーブルをご用意ください。
2. 出力信号の大きさを調整できない機器は接続しないでください。不用意に切り替えた際、大音量になることを防止するためです。

詳細は5ページ（5.ご使用方法）を参照してください。



## 7. サービスノート

---

### 音が出ない

- 電源コードはコンセントに差し込まれていますか。
- パワースイッチはONですか。
- パネル前面のLEDは点灯していますか。
- 接続したケーブルに異常はありませんか。
- プリアンプやプリメインアンプに接続している場合、アンプのセレクタースイッチは接続したソースを選択していますか。お使いのアンプの取扱説明書を参照してください。

### 音が歪む

- 電源電圧は95～105Vの間にありますか。
- 音量を上げ過ぎると歪みます。耳のためにもご注意ください。
- 「LEVEL CONTROL MODE」スイッチが「EXTERNAL」になっていませんか。  
過大入力によって本機が歪んでしまうことがありますのでご注意ください。
- パラレル出力端子に接続した機器（レコーダーやアンプ）の電源がOFFの時、機器の入力インピーダンスが極端に下がってソース機器の信号が歪んでしまうことが稀にございます。  
この場合は、その機器のケーブルを外してお使いください。  
本機は電源を切った状態でも上記の症状が出ることはございません。

### 左右で音が揃わない

- 入力信号は正常ですか。
- ケーブルなどに接触不良はありませんか。
- ボリュームをゼロに絞った時、音が出始める位置が左右で若干揃わないことも有ります。  
これは、不良では有りませんのでご安心下さい。
- 左右でアンバランスが発生する場合、2重軸のツマミを調整することによって揃える事ができます。
- 音量が調整できない・「LEVEL CONTROL MODE」が「EXTERNAL」に設定されていませんか？  
「INTERNAL」に設定してください。

### ハム音が出る

- 入力端子は正しく接続されていますか。  
ケーブルのアース側が浮いているとハム音が出る場合があります。
- ブーンというハムが出る時は、本体のアース（GND）と他の機器のアース又は金属部分と接続してみてください。また、アルミサッシの窓枠の金属部分につないでも効果を確認しています。
- 接触不良はありませんか。
- 電源電圧は95～105Vの間にありますか。
- 本機の筐体は非磁性アルミのため、機器同士でハムを誘発する場合があります。特に大型トランスを使用した機器や電子レンジが近くにありませんか。それぞれの距離を離してください。
- 電源を切った直後しばらくの間ハム音などが出る場合がありますが、故障ではございません。

その他故障と思われる症状が出ましたら、お買い求めになった販売店もしくは、弊社サービス課：  
TEL: 049（293）1891 までお問い合わせください。

ホームページでも受付しております。 <https://stax.co.jp>

**お願い：**製品をお送りになる場合は故障箇所早期発見のため症状を詳しく書いたメモを同封し、製品の梱包箱又は一回り大きな段ボール箱に入れ、宅配便にてお送りください。

## 8. 規格

- 周波数特性 : DC ~ 100kHz / +0, -3dB (SR-009S 1台使用時)
- 定格入力レベル : 100mV / 100V 出力時
- 最大入力レベル : 30V r.m.s. / ボリューム最小時
- 増幅度 : 60dB
- 高調波歪 : 0.01%以下 (1kHz/100Vr.m.s.出力時)
- 入力端子 : RCA入力端子, XLRバランス入力端子--各1系統
- 入カインピーダンス : 50K $\Omega$  (RCA) / 50K $\Omega$   $\times$  2 (XLR)
- 最大出力電圧 : 450V r.m.s. / 1kHz
- 標準バイアス電圧 : PRO 580V
- 電源電圧 : AC100V  $\pm$  5%, 50Hz ~ 60 Hz
- 消費電力 : 46W
- 使用温度範囲 : 0 ~ 35 $^{\circ}$ C 90%以下 (但し結露しないこと)
- 外形寸法 : 240 (W)  $\times$  103 (H)  $\times$  360 (D) mm 本体のみ  
(VR ツマミ (18), アース端子 (15) を含む場合 : 393 (D) mm)
- 重量 : 6.3Kg
- 備考 : スルーアウト端子 (RCA) 付  
: ボリュームパス機能搭載

\* 本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

\* この製品は 100V / 日本国内専用です。電源電圧は変更できません。

\* 製品の保証は日本国内のみ有効です。

\* AC100V only: The power supply voltage cannot change.

\* The warranty of this products is valid in Japan.

## お手入れについて

- 電源コードをコンセントから抜き、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは布を水に浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールは、塗装や印刷などが剥げることがありますので使用しないでください。化学雑巾は付属の説明をお読みいただき、使用できるか確認の上ご使用ください。

## 付属品

電源コード	1
RCAピンケーブル	1
保証書	1
取扱説明書	1

# STAX®

有限会社スタックス

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑3798-1

TEL:049-293-1891、FAX:049-293-1892 URL: <https://stax.co.jp>

※※電話・FAXによるお問い合わせについて※※

電話番号 : 049-293-1891

FAX番号 : 049-293-1892

受付時間 : 9:00~12:00, 13:00~17:00

受付日 : 弊社休日および祝日を除く月曜~金曜